



情報はみんなのもの



11月24日、25日に実施した令和5年度ふたば祭では、のべ726名の方にご来校いただき、児童・生徒の学習の様子を見ていただきました。ご来校いただいた皆様、ありがとうございました。



校長 伴 光明

先週のふたば祭を終えてすぐ、学校ホームページのトップにこんなメッセージを載せました。ご覧いただけただでしょうか。

「学校からのお手紙」と言われるように、学校から保護者、地域の皆さんへの連絡手

段は「紙」の通知文が主流でした。私のお手紙作りは「ボールペン原紙」から始まり、ワープロの時代がしばらく続き、やがてパソコンで原稿を書くようになりました。原稿ができたなら印刷機にかけるのはずっと変わりません。時には順番待ちもあったので、全校配布物の印刷・帳合（手作業から帳合機へ）で夜なべ仕事になることもしょっちゅうでした。

技術の進歩に伴いライフスタイルは変化します。現代、原稿をメールで発信することは発信者と受信者双方にとって有効な、ウィン-ウィンな関係作りにつながるものと考えています。

子供（未来の大人）は、これからいっそう情報の集積や活用が進み、人工知能による情報整理などが進むであろう「Society5.0」の社会で生きていきます。学校も未来と現代を意識して、情報伝達の速度や情報共有の過程には敏感でありたいものです。

今年度PTAが発信する「お手紙」は、紙の良さを活かした分かりやすさや温かみを感じられる素晴らしいものと拝見しています。学校からの公式発信では、紙の「型」をもって威儀を正し、内容の重みを伝えるものも必要でしょう。内容と性質に応じて紙とデジタルを使い分けていくことで、分かる、分かりやすい関係を築いていきましょう。

「伝える」むずかしさ 「伝わる」うれしさ

副校長 落合 隆一

本校の大きな学校行事の一つであるふたば祭が終了しました。ご来校ありがとうございました。

多くの方に、児童・生徒の活動を直に見ていただく機会を設けられたことをとてもうれしく思っています。コロナ禍では、こうした機会がもてず、児童・生徒の様子を伝える上では、連絡帳等での文字情報や面談等での会話による、「ことば」での伝達を中心でした。伝えたいことがうまく伝わるかといった不安や、伝えることの難しさを痛感した時期でもありました。保護者の皆様にとっても同様に、学校がわかりづらい場所になってしまっていたのかもしれない。

今後も、直接見聞きしていただく機会や、わかりやすく伝えていくことを大切に取り組んでまいります。今回、保護者の皆様にご来校いただき、活動をご覧いただけただけことが、児童・生徒の学校生活の様子や成長している姿を共有することにもつながっていれば幸いです。

メールメイトの活用を広げていきます。

これまで、交通機関、スクールバスの遅延、時差登校等、主に緊急連絡での用途で活用してきましたが、保護者の皆様への情報提供の充実を図るため、行事の案内、学部ごとや部活動に関する連絡、感染症等健康面での連絡、PTAからのお知らせ、外部の関連情報等の連絡にも拡大して活用してまいります。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

がんばったよ!ふたば祭 A 小学部

サボテン・なのはなグループは英語劇に初挑戦。息の合った歌や演奏、ダンスとともに流暢な英語を披露しました。わくわくグループでは、得意な動きで体を鍛えるお芋達を児童が力を合わせて引き抜き、焼き芋を完成させました。あいあいグループでは、タンバリンの演奏やおしゃれなダンスを披露する愉快的仲間と主人公が出会い、無事靴を取り戻しました。どのグループでも児童がはりきって取り組む様子が見られ、素晴らしい発表となりました。

ステージの外も舞台！ B 小学部

B小の舞台発表は、それぞれの学年が、自分たちで色や模様を選び、様々な技法を使って着色し、準備をした衣装に身を包み、素敵な演技・演奏を披露しました！ 展示でも、「図工」や「生活」、「生活単元学習」での作品や共同作業の掲示物を展示しました。力を合わせて練習した舞台発表や日常での学びや経験を重ねている様子も、観る人にたくさん感じていただいたふたば祭でした。保護者の皆様、児童の頑張りをたくさんほめていただき、ありがとうございました！

ふたば祭に『虹』をかけよう！

A 中学部

今年の舞台発表のテーマは『虹』。雷様が引き寄せた雲を、天使や“空のお掃除屋さん”が協力して取り除き、きれいな虹を出現させました。役割を意識し堂々とした演技、生き生きとした表情が素晴らしかったです。買い物やゲーム、展示見学などもめいっぱい楽しむことができました。みんなの笑顔がまるで虹のように輝く、素敵なふたば祭となりました。

中学部最後のふたば祭 B 中学部

【中3】舞台：修学旅行から帰ってきてあっという間にふたば祭と、大きな行事が続きましたが、練習からとてもよく頑張りました。本番も練習の成果を出しきった3年生らしい舞台になりました。保護者の皆様もご協力ありがとうございました。販売：木工班では、今年は製品を沢山作ることができました。そのため、多くの人に販売をすることができました。心を込めて作った商品が売れた！という喜びを感じることができたふたば祭でした。

ざ・A高フェスタ！！ A 高等部

まだまだ、夏の余韻を残す9月から準備が始まりました。作業の販売製品は、お客様が購入後に喜んでいただけるように、丁寧に仕上げました。舞台発表は、生徒それぞれが、新しいチャレンジを発表するために練習を積み重ねてきました。当日は、多くのお客様に参観いただき、夏さながら、熱気あるフェスタになりました。お陰様で、生徒それぞれが、2か月間の準備と練習の成果を力の限り発揮することが出来たA高等部のフェスタとなりました。

みんな輝いたふたば祭 B 高等部

作業販売では1日目で2日目の分まで売れてしまう班もあったほか、清掃の実演にも多くの来場者が集まりました。展示では美術や家庭科の作品のほか、食育や情報、委員会など高等部らしい展示となりました。舞台発表では、特に3年生の「生きる」の群読には心を揺さぶるものがあり多くの反響をいただきました。閉会式では秋留台高校の生徒会も来校し、良い交流もできました。実行委員が作ったスローガン通り、みんなが輝いた楽しいふたば祭でした。

ふたば祭 アンケート

ふたば祭をご参観いただきありがとうございました。ご意見、ご感想をお聞かせください。過日ご案内をいたしました。これからご回答いただく際は、右のQRコードをスマートフォンやタブレット等で読み取り、入力後、ご送信ください。すでにご回答いただきました皆様、ご協力ありがとうございました。

